

書

正本

首一頁讀全流法定

花房

皇室典範

第一章 皇位繼承

第一條 大日本國皇位ハ祖宗ノ

皇統ニシテ男系ノ男子之ヲ繼

承ス

第二條 皇位ハ皇長子ニ傳フ

第三條 皇長子在ラサルハ

皇長孫ニ傳フ皇長子及其子

孫皆在ラサルハ皇次子及

其ノ子孫ニ傳フ以下皆之ニ例

停條

白子孫

40

皇位 繼承

皇太子孫

第五條

王子孫皆壯

望見年及真子孫傳

寫六條

望云集

[illegible]

子孫傳

第七條

皇伯叔父及其子孫皆

在
ラ
サ
ル
ト
キ
ハ
其
ノ
以
上
ニ
於

最近親、皇族、傳

第八條

皇兄弟以上八同等内

於戸端ヲ先ニシ殿ヲ後ニシ長

ヲ先ニシ
ルヲ後ニス

第九條

皇嗣精神若身體

重忠アリ又ハ重大ノ事故

甲午年八月皇族會議樞密廳

問ニ諮詢シ前数條ニ依リ繼承
順序ヲ換フルコトヲ得

第二章 踐祚即位

第十條 天皇崩スルトキハ皇嗣即

々踐祚シ祖宗ノ神器ヲ承ク

第十一條 即位ノ禮ハ京都ニ於テ

之ヲ行フ

第十二條 即位ノ後大嘗祭ヲ行フ

第十三條 祖宗ノ例ニ依リ

第十四條 踐祚ノ後元號ヲ建テ一

世ノ間ニ再ヒ改メサルコト明治

元年ノ定制ニ從フ

第三章 成年立后立太子

第十三條 天皇及皇太子皇太孫ハ

滿十八年ヲ以テ成年トス

第十四條 前條ノ外ノ皇族ハ滿二

十年ヲ以テ成年トス

第十五條 儲嗣ハ皇子ヲ皇太子

ト稱シ皇子ハ皇太子ヲ稱ス

第十六條 皇太子皇太孫ハ

立ツルトキハ詔書ヲ以テ之ヲ

宣スル

公布

第四章 敬稱

第七條 天皇 太皇太后 皇太后 皇后

敬稱ハ陛下ニ又

第十八條 皇太子 皇太子妃 皇太孫 皇

太孫 妃親王 親王妃 內親王 敬稱ハ

高殿下ニ又

第十九條 王 王妃 女王 敬稱ハ殿下

ト又

天皇未々成年ニ達
ミルトキハ攝政ヲ置
ク
天皇久キ直ル
故降、由リ太政ヲ親
ラスルコト能ハサルトキハ
皇族會議及ヒ
密顧問會議ヲ任
攝政ヲ置ク

第五章 攝政

第十九

第二十一條 天皇未々成年ニ達セ
ミルトキハ攝政ヲ置ク
精神若シキ身體不
健全ナル由ニ太政ヲ親
スルコト能ハサルトキハ

第二十二

第二十二條 攝政ハ成年ニ達
シ皇太子又ハ皇太孫之ニ任
ス

第二十三

第二十三條 皇太子皇太孫未
ダ成年ニ達セサルトキハ左
ノ順序ニ

依リ攝政ニ任ス

第一 皇族男子

第二 皇后

第三 皇太后

第四 太皇太后

第五 皇族女子

第二十二條 皇族男子、摂政に任

ず。ハ皇位継承、順序に従、其

女子ニ於ケルモ亦之ニ準、

第二十三條 皇族女子、摂政に任

ず。ハ其配偶、ハ其ハ若シテ限

ル

第二十四條 皇近親、皇族未成

年ニ達セサルカ又ハ其他、事

故ニ由リ他、皇族摂政に任シタ

ルトキハ後、皇近親、皇族成年

ニ達シ又ハ其ノ事故既ニ除クト

至皇太子及皇太后ニ對スル、外

其ノ任ニ譲ルコトナシ

第二十五條 摂政タルハキ若シテ神

聖ノ身體ノ重寛ニシテ又ハ重大

事...
顧問...
皇族會議...
樞密...
順序...
其...
經...
ヲ...
ル...

皇族會議

第六章 太傳

第二十八條 天皇幼年時、太傳

ヲ置キ保育ヲ掌ラシム

第二十九條 先帝遺命ヲ以テ太傳

ヲ任命セサリシトキ、攝政ヨリ

皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シ之

ヲ選任ス

第三十條 太傳、攝政及其子孫

之ニ任スルコトヲ得ス

第三十一條 攝政、皇族會議及樞

皇親問ニ諮詢シタル後ニ非サレ
ハ太傳ヲ退職セシムルコトヲ得

第七章 皇族

第三十條 皇族ト稱フルハ太皇

太后皇太后皇后皇太子皇太子妃

皇太孫皇太孫妃親王親王妃内親

王王王妃女王ヲ謂フ

第三十條 皇子ヨリ皇玄孫ニ至

ルマテハ男ヲ親王女ヲ内親王ト

シ五世以下ハ男ヲ王女ヲ女王ト

第三十四條 天皇直系ヨリ入テ大

統ヲ承クルトキハ皇兄弟姉妹ノ

王女王タリ者ニ特ニ親王内親王

ノ號ヲ宣賜ス

第三十五條 皇族ノ誕生命名婚嫁

薨去ハ宮内大臣ノ之ヲ公告ス

第三十六條 皇統譜及前條ニ関シ

記録ハ圖書寮ニ於テ尚藏ス

第三十七條 皇族ハ天皇之ヲ監行ス

第三十八條 攝政在任ノ時ハ前條ノ

事ヲ履行ス

第三十九條 皇族男女幼年ニシテ

父ナキ者ハ宮内ノ官僚ニ命ジ保

育ヲ掌ラシム事宜ニ依リ天皇ハ

其ノ父母ノ選定セシ後見人ヲ認

可シ又ハ之ヲ勅選スベシ

第四十條 皇族ノ後見人ハ成年以

上ノ皇族ニ限リ

第三十九條 皇族ノ婚嫁ハ同族ノ

ハ皇族ニ限リ

第四十二條

皇族ノ婚嫁ニ親許ニ

第四十三條

皇族ノ婚嫁ヲ許可ス
親許ニ
皇族ノ婚嫁ヲ許可ス
親許ニ

之ニ副署ス

第四十四條

皇族ハ養子ヲ為ス

トヲ得ル

第四十五條

皇族國疆ノ外ニ旅行

セハトスルハ親許ヲ請フハ

第四十六條

皇族女子ノ臣籍ニ嫁

シタル者ハ皇族ノ列ニ在ラス但

ニ特旨ニ依リ仍内親王世王稱

ヲ有セシムルコトアルヘシ

第八章

世傳御有

第四十七條

御料ノ土地物件ニシテ

テ世傳御有ト定メタル者ハ分割

譲與スルコトヲ得ス

第四十八條

世傳御有ニ編入スル

土地物件ハ樞密顧問ノ議ヲ經テ勅

書ヲ以テ之ヲ定メ宮内大臣

之ヲ公告ス

第九章 皇室經費

第四十九條 皇室諸般ノ經費ハ特

ニ常額ヲ定メ國庫ヨリ支出セシ

第五十條 皇室經費ノ豫算決算檢

査及其ノ他ノ規則ハ皇室會計法

ノ定ムル所ニ依ル

第十九章 皇族訴訟及懲戒

皇族相互ノ民事ノ訴訟ハ勅旨ニ依リ宮内省ニ於テ行ハル

判員ヲ命ジ裁判セシメ勅裁ヲ經ル

第五十條 皇族ノ人民ヨリ皇族ニ對シテ提起スル民事訴訟ハ初審及終審ニ關シテ

該院ニ於テ之ヲ裁判ス但シ皇族ノ自認

ハ代人ヲ以テ訴訟ニ當ラシメ自認

ニ出ルヲ要セス

此ニ出ルヲ要セス

第五十一條

皇族ハ勅許ヲ得ルニ
非サレバ引レ又ハ裁判所ニ招

喚ビテコトヲ得ス

第五十二條

皇族其ノ品位ヲ辱ム

ルハ所行アリ又ハ皇室ニ對シ忠

順ヲ缺クトキハ勅旨ヲ以テ之ヲ

懲戒シ其ノ重キ者ハ皇族特權ノ

一部又ハ全部ヲ停止シ若ハ剝奪

スヘシ

第五十三條

皇族蕩産ノ所行アル

ト者ハ勅旨ヲ以テ治産ノ禁ヲ宣

告シ其ノ管財者ヲ任スヘシ

第五十四條

前二條ハ皇族會議ニ

諮詢シタル後之ヲ勅裁ス

第十一章 皇族會議

第五十七條 皇族會議、成年以上

皇族男子、以組織、內大臣

宮内大臣司法大臣樞密院議長

議長、以參列セシム

第五十八條 天皇ハ皇族會議ニ親

臨ス又ハ皇族中一員ニ命ジテ

議長トシム

第十一章 皇族會議

第五十七條 皇族會議ハ成年以上

皇族男子ヲ以テ組織シ内大臣

宮内大臣司法大臣樞密院議長大

審院長ヲ以テ参列セシム

第五十八條 天皇ハ皇族會議ニ親

臨ス又ハ皇族中一員ニ命ジテ

議長タラシム

第十二章 補則

第五十九條 現在、皇族五世以下

親王、號ヲ宣賜シタル者ハ舊ニ

依ル

第六十條 皇位繼承ノ順序ハ總テ

子親ノ實系ニ依ル現在皇養子皇

猶子又ハ他ノ繼嗣ヲ以故ヲ以

テ之ヲ混スルコトナシ

第六十一條 親王内親王王女王ノ

品位ハ之ヲ廢ス

第六十二條 親王ノ家格及ハ世襲

親王ノ諸達其ノ他此ノ典範ニ抵

觸スル者ハ總テ之ヲ廢ス

第六十三條 皇族ノ財産歳費及諸

規則ハ別ニ之ヲ定ム

第六十四條 將來此ノ典範ノ條項

ヲ充實シ又ハ増補スヘキノ必要

アルニ當テハ皇族會議及樞密顧

問ニ諮詢シテ之ヲ決定スヘシ

○廿二年二月四日校

原本

書記官

易後如了

二月三十日夕

讀合満正確十九子

憲